

化学と教育

第58巻 第6号 2010年 目次

◆ 化学教育 徒然草

自信が持てるように 大倉 一郎 243

◆ ヘッドライン：匂いと香りの化学

彩り豊かな五感の世界を支える隠れた主役：フレーバーとフレグランス 角田 一 246

脱臭剤の化学 梅原 勝雄 250

フェロモンの化学 安藤 哲 254

動物の匂いの世界 菊水 健史 258

◆ レーダー

ナノスケールの分子ワイヤを作る！ 寺尾 潤 262

相分離を伴う重合によって新しい高分子材料を作る 木村 邦生 264

◆ 実験の広場

ビギナーのための実験マニュアル

寒天ゲルを用いた電気分解 水間 武彦 266

教材研究のツボ

生徒が組み立てるダイヤモンドの単位格子モデル 守本 昭彦 268

実験教室レポートします！

地域連携が育む科（化）学の芽 山崎 隆一 270

◆ 講座：高校で習わなかったところ分かる

アルコールからのエーテル合成 —単に水がとれるだけ？— 斎藤 慎一 272

求核置換反応 —反応メカニズムを中心に— 三野 孝 276

ヘッドライン企画趣旨

良い「匂い」、悪い「臭い」などの漢字の使い分けで、日本人は目からにおいを感じている。英語にも、“smell”, “odor”, “stench”などの使い分けがある。このように人間にとって非常に身近で繊細な感覚であるにおいを特集し、それを放つ物質、吸収する物質（脱臭剤）、フェロモン、他の動物の匂いの世界を化学の視点で解説していただく。

◆ シリーズ：教科書から一歩進んだ身近な製品の化学

たかがハミガキ、されどハミガキ 平野 正徳 280

△ 日本化学会から

平成 22 年度各賞候補者の募集 287

日本化学会『化学遺産認定制度』開始ならびに『第 1 回化学遺産認定』のお知らせ 288

第 2 回『日本化学会化学遺産』認定候補ご推薦のお願い 289

■ 行事一覧 282

次号予告 58 巻 7 号

ヘッドライン：第 17 回化学教育フォーラム「新学習指導要領と新しい理科（化学）教育のすがた」

ヘッドライン	第 17 回化学教育フォーラム開催報告	村上 忠幸
	高等学校学習指導要領の改訂と今後の理科（化学）教育	林 誠一
	PISA から見える日本の科学的リテラシー	小倉 康
	新学習指導要領に期待すること	村田 滋
	新しい理科（化学）教育を支えるもの—科学リテラシー・探究学習・コミュニケーション—	村上 忠幸
	科学的リテラシーの育成と新指導要領	越野 省三
	新学習指導要領の先行実施から見える科学的リテラシー	西川 光二